契（ちぎり）通信VOL.169

２０２０年１月２９日発行
株式会社チキリ　社長室編集

新年おめでとうございます

年が明けてだいぶ日が経ってしまいましたが、改めまして、あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

今年も昨年同様暖かで穏やかなお正月でした。そして、年末年始の休暇も昨年に続き大企業並みの９日間。旅行にでも行けば長く感じないのでしょうが、ずっと家にいたので調子が狂ってしまいました。年末は掃除、元旦は初詣など忙しくしていたのですが、後半３日はゆっくりできたのですが、もったいなくも無駄に大切な休みを過ごしてしまったように思います。休みが始まる前に９日間のスケジュールをちゃんと組んでおけばよかったと反省しています。

さて、例年元旦の朝４時から善提寺でお経をあげます。本当は１日から８日までの８日間毎朝（２日以降は朝５時から）唱えるのですが、私は、初日と最終日だけで勘弁してもらっています。そこで仏様にお願いしたのは「健康」です。私は今年厄年。前回４２歳の厄年は結構色々な事がありました。特に健康面で私自身だけではなく家族も不調でした。ということで祈願の第一が「健康」ということです。もちろん会社の「商売繁盛」も祈念いたしました。そして皆様にとっても今年１年が素晴らしい年になるよう祈念申し上げます。

代表取締役　服部厳一郎

なんだ・かんだ

◆　２０２０年　子年　◆

２０２０年令和２年は🐭子年、子年の相場の格言は「繁栄」で、株式市場では、十二支のなかで２番目に景気の良い干支だそうで、逆に来年の丑年が悪い年なのでここで稼がなければいけない年だそうです。

さて、現実の経済の状況は、昨年から続く穏やかな景気後退の中、課題となるのはやはり米中摩擦と英国のＥＵ離脱。どちらも昨年末に取りあえず不透明であったものが良くも悪くも先が見えるようになったという意味では一服といった感はありますが、やはりこの問題は今後の景気に大きく影響することは明らかです。国内ではオリンピックイヤーそして国の大型の財政出動などのプラス要素はありますが、製造業の勢いが減衰していることは明らかです。

昨年も引用しました、日経新聞の主要企業経営者２０人による新年の景気見通しでは、

〇予想実質国内総生産(GDP)の前年度比伸び率は平均0.5%。(政府の見通しは1.4%)　設備投資が堅調なことや政府の経済対策で公共事業の積み増しが期待できることから、景気の底割れは回避できるとの見方が多い。設備投資は、情報化関連、次世代通信規格「5G」関連、人手不足対応の設備投資が伸びる。

〇政府が12月初めに決定した大型の経済対策も景気を支える。民間の支出を加えた事業規模は26兆円にのぼる。

〇戦後最長とされる景気回復はいつまで続くのかという問いに対して、昨年19年末が景気のピークであったと回答したのは3人。五輪前の20年上半期にピークと回答者が5人で最多だった。また、21年以降も続くと回答した経営者もいた。

〇株式相場の見通しは、日経平均株価の高値を2万5000円以上、安値は2万1000円程度とする見方が多かった。

〇景気のマイナス要因である、米中貿易摩擦も米大統領選を控えリスクが低下する。

等の意見が出ていました。

そんな中、1月3日にアメリカ軍がイランの国民的英雄であった司令官を空爆で殺害しました。ダウは急落、為替はドル安に転じ円高、金相場も高騰し、当然原油も高騰しました。その後両国の緊張はトーンダウンしましたが、石油の輸入の８割を中東に依存している日本に影響が生じることは必至で今後の動向を注視しなければなりません。更にここへ来て中国発の新型コロナウイルスという問題も浮上してきました。

一方正月明けのお得意先回りを終えての感想ですが、今年は４月以降本当に先が見えない年だと感じました。景気がどうあれ私たちがやることは、「新しいお客様を作る」「新しい仕事を作る」ことです。重要なのはまずやる事。失敗しても、結果が出なくても行動すること。挑戦の過程でいかに考え努力したかが重要で、そういった努力を重ねていく内に結果として利益は付いてきます。

日経の社説に次の一節が出ていました。「企業は不確実な事業に挑むからこそ利益を得ることができる。未来を自ら開く経営が望まれるときだ。」現状に甘んずることなく新しいことへ挑戦することが大事だということです。

新入社員紹介

● 岡村千代輝 ●　　営業部２課

今年度１月６日より営業部二課に配属させて頂きました、岡村と申します。

生まれは神奈川となりますが幼少期から富士宮で過ごし、日本大学三島高等学校卒業の後、日本大学国際関係学部へ進学し卒業しました。その後はピザの配送のアルバイトをしながらバンド活動をしていました。

アルバイトではございますが、勤めた８年の中でお客様に対する姿勢や、自身の仕事に対する誇りや情熱など沢山のことを学ばせて頂きました。

入社以降先輩方の業務に同行させて頂き、様々な経験を積ませて頂いていますが、専門的な事もあり一層の努力が必要だと感じました。しかし、先輩方のご教授やご指導もあり、楽しく勉強させて頂いています。

何分社会経験に乏しく、皆様にご不便やご迷惑をお掛けしてしまうことがあると思いますが、一生懸命頑張らせて頂きますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

■ 契通信の配信について ■

当通信もお陰様で発刊して１５年目に入りました。当初ＦＡＸのみの配信でしたが、現在はメールでも配信しております。

一応、お断りをした上でお送りしているのですが、ＦＡＸでお送りしている方については、こちらの一方的な配送物にもかかわらず、紙を利用させて頂いているという申し訳ない気持ちと、転勤などで部署が変わって、送り先に宛名の方がいらっしゃらないのに送られてくると言う問題があります。

配信をメールに切り替えを希望される方。また、既に宛名の方がいらっしゃらないなどで、配信停止をご希望される方は、お手数ですが、メール・ＦＡＸ・お電話でご一報下さい。次号より反映させて頂きます。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思います。次回からの発送を中止させて頂きます。

株　式　会　社　チ　キ　リ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610　Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com　　URL http://www.chikiri.com/